

平成 22 年 6 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社日本製紙グループ本社
代表者名 代表取締役社長 芳賀 義雄
(コード：3893 東証・大証・名証・1部)
問合せ先 企画本部経営企画部長 鹿島 久仁彦
(TEL . 03 - 6665 - 1002)

**理文造紙有限公司(Lee & Man Paper Manufacturing Limited)との
業務提携および株式取得に関するお知らせ**

当社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：芳賀義雄）は、平成 22 年 6 月 22 日開催の取締役会において、以下のとおり、中国における段ボール原紙生産量第 2 位のメーカーである理文造紙有限公司(Lee & Man Paper Manufacturing Limited、以下「L&M 社」)との間で、業務提携を行うことおよび同社の株式取得を行なうことについて決議し、本日、業務提携契約および株式譲渡契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1. 業務提携および株式取得の理由

当社グループは、2015 年を目標とする「グループビジョン 2015」を掲げ、企業価値の持続的成長を果たし、世界紙パルプ企業トップ 5 入りを目指しております。また「グループビジョン 2015」の実現に向け、平成 21 年 4 月から平成 24 年 3 月までを「第 3 次中期経営計画」の期間として、勝ち残りのための構造転換の加速、すなわち国内需要に見合った生産体制へのシフトを継続しながら積極的な海外展開を図っております。特に今後の成長が期待できるアジア・オセアニア市場を新たな柱として位置付け、台湾最大の総合製紙メーカーである永豊餘造紙股份有限公司との戦略的業務提携（平成 19 年 11 月）とそれに基づく同社グループ板紙事業会社（永豊餘ケイマン）への出資（平成 22 年 3 月）、タイ国最大の総合製紙メーカーである SCG ペーパー社との洋紙事業全般に関わる包括的業務提携（平成 20 年 2 月）、オーストラリア最大の印刷用紙メーカーであるオーストラリアン・ペーパー社の全株式の取得（平成 21 年 6 月）など積極的な事業展開を図ってまいりました。当社グループはこのようなアジア・オセアニア市場において着実に事業拡大を積み重ねており、さらに、事業拡大を推進するために急成長する中国市場において成長の原動力となる事業機会を獲得することを検討してきました。

一方、L&M 社は現在中国における段ボール原紙生産量第 2 位のメーカーであり、1994 年の事業開始から短期間で年間生産キャパシティ 400 万トンを超える世界有数の段ボール原紙メーカーに成長いたしました。L&M 社は、企業規模の拡大と事業の垂直統合を事業戦略として成長を実現してまいりましたが、近年、中国市場での更なる成長・発展のために高品質・高付加価値の板紙製品事業分野への進出を模索する中で、生産管理技術の強化や製造効率の向上に注力する必要があるとの認識を深めてまいりました。

このような状況下、当社グループと L&M 社グループは、両社の経営資源を持ち寄ることで成長力ある中国市場における板紙事業を中心にシナジー効果を発揮し、両社の企業価値を向上させることを目的として、業務提携および株式取得について協議を行なってまいりましたが、今般、以下のとおり合意したものです。

このたびの L&M 社との業務提携および株式取得により、当社グループは成長著しい中国市場において成長の原動力を獲得することが可能になります。今後も本業務提携の推進により、企業価値の向上に努めてまいります。

2. 業務提携の内容等

(1) 技術交流およびコスト削減

当社からの技術者の派遣やノウハウの提供により L&M 社の生産管理体制の強化、製造効率の向上およびコスト削減、ならびに中国市場における高付加価値品の開発に取り組む予定です。

(2) 人材交流（取締役の派遣）

本業務提携契約の目的を実現するため、本契約締結後速やかに、当社代表取締役 1 名を含む 2 名が L&M 社の取締役に就任する見込です。またかかる取締役派遣のほか、両社の人的関係を強化するための人材の派遣・出向等を予定しております。

(3) 新商品・新規事業分野および研究開発活動における協力

業界および研究活動の動向、特に将来の研究開発の可能性に関して、共同で検討してまいる予定です。

(4) その他

業務提携内容の更なる詳細については、今後両者の代表者からなる Steering Group を直ちに設立し、鋭意検討を進めてまいります。

3. 株式取得の内容

(1) 株式取得の方法

L&M 社の筆頭株主であり、創業者一族が所有する資産管理会社（Gold Best Holdings Ltd.）から相対取引にて取得致します。

(2) 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

異動前の所有株式数	0 株 (所有割合 : 0 %)
取得株式数	546,153,559 株 (取得価額 : 約 3,550 百万香港ドル (約 426 億円))
異動後の所有株式数	546,153,559 株 (所有割合 : 12.00%)

上記取得価額の円表記は、1 香港ドル = 12.0 円で換算しております。

上記所有割合は、平成 22 年 6 月 21 日現在の L&M 社の発行済株式総数を基準としております。

4 . L&M 社の概要

(2010年3月31日現在)

(1) 名 称	理文造紙有限公司 Lee & Man Paper Manufacturing Limited			
(2) 所 在 地	(Registered Office) Cricket Square Hutchins Drive P.O.Box 2681 Grand Cayman KY1-1111 Cayman Island (Principal Office) 5th Floor, Liven House 61-63 King Yip Street Kwun Tong Kowloon Hong Kong			
(3) 代表者の役職・氏名	Lee Man Chun Raymond (CEO)			
(4) 事 業 内 容	段ボール原紙の製造および販売			
(5) 資 本 金	113.77 百万香港ドル			
(6) 設 立 年 月 日	2003年5月21日			
(7) 大株主および持株比率	Gold Best Holdings Ltd. 63.01%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者および関係会社と当該会社の関係者および関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。		
	人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者および関係会社と当該会社の関係者および関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。		
	取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者および関係会社と当該会社の関係者および関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。		
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者および関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績および連結財政状態 (単位：香港ドル、1株当たり連結当期純利益はセント)	決算期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
連 結 純 資 産		8,034 百万	8,467 百万	10,151 百万
連 結 総 資 産		17,015 百万	18,677 百万	19,710 百万
1 株 当 たり 連 結 純 資 産		7.06	7.44	2.23
連 結 売 上 高		8,996 百万	9,649 百万	11,099 百万
連 結 当 期 純 利 益		1,431 百万	300 百万	1,833 百万
1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益		127.22	26.56	40.30
1 株 当 たり 配 当 金		0.26	0.05	0.135

L&M社は2009年12月に普通株式1株を4株に分割する株式分割を行っております。

5.日程

(1) 取締役会	平成22年6月22日
(2) 業務提携契約締結	平成22年6月22日
(3) 株式譲渡契約締結	平成22年6月22日
(4) 株式取得日	平成22年6月30日(予定)

6.今後の見通し

本業務提携および株式取得に伴う当期(平成23年3月期)の当社連結および単体業績への影響は軽微です。

以上

(参考) 当期連結業績予想(平成22年4月28日公表分)および前期連結実績 (単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成23年3月期)	1,140,000	42,000	36,000	20,000
前期連結実績 (平成22年3月期)	1,095,233	43,149	37,547	30,050